

kanagawa ARTS PRESS

神奈川芸術プレス Vol.147

4|5
2019



撮影:末武和人

CREATOR'S VOICE 166
石橋杏実・近藤合歓

劇団四季
ミュージカル

「パリのアメリカ人」

劇場・音楽堂を色々な角度から楽しめる二日間! オープンシアター 2019

2019-2020年ラインナップ発表

開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト

隔月刊:奇数月15日発行

新しく体験することばかり、すべてがチャレンジで新鮮です。
全身でヒロインの心を表現するために
いま改めて自分の身体と向きあっています。

劇団四季 ミュージカル「パリのアメリカ人」

KAAT神奈川芸術劇場

石橋杏実 近藤合歓 俳優



『パリのアメリカ人』は、同名映画に着想を得、さらに時代背景や人物造形を掘り下げたストーリーと、ミュージカルの常識を凌駕した心躍るダンスシーン、スタイリッシュな美術で、ミュージカルの新領域を切り開いた話題作です。パリ、ブロードウェイ、ロンドンを席巻した本作は、本年1月東京で日本初演の幕が開き、いよいよ3月からはKAAT神奈川芸術劇場での上演が始まります。ヒロインのリスを演じる石橋杏実さん、近藤合歓さんのお二人に作品に取り組む姿勢や作品の見どころについてお話を伺いました。

——お二人は、小さいころからバレエを続け、海外留学、海外のバレエカンパニーを経て、劇団四季に入団、本作がヒロイン・デビューとなりますね。

石橋 新しく体験することばかりで毎日とても新鮮です。私はこれまでアンサンブルとして舞台に立ってきたので、長いセリフも歌のソロも一度も経験がありません。

ませんでした。作品を通じて一人の人物を演じるのも初めてです。演技、歌、ダンス、表現力……求められているすべてがチャレンジですが、リス役を演じることが俳優として大きく成長していきたいと思っています。

近藤 劇団四季に入団してから今作が三作目の出演です。私もアンサンブルとして場面に応じてさまざまな役を演じましたが、舞台上で色々な登場人物たちの人生と関わりながら演技をするのはまったく初めてです。リスとして色々な人と向き合うことがとても楽しく、毎日が刺激的です。

バレエが導いてくれた リス役との出会い

——お二人が演じるリスはバレエダンサーという役柄です。劇中のバレエシーンなどトウシューズで踊る場面も多くありますし、長くバレエを続けてきたからこそ挿んだ大役でないでしょうか。

近藤合歓 Nemu Kondo

長野県出身。小学生の頃からクラシックバレエを始め、ベルリン国立バレエ学校で研鑽をつむ。ドイツではいくつかのバレエ団公演にゲスト出演し、2016年劇団四季研究所入所。2017年『アンデルセン』で四季での初舞台を踏み、『ソング&ダンス 65』にも出演。『パリのアメリカ人』ではヒロイン・リズ役を演じている。

石橋杏実 Kyomi Ishibashi

埼玉県出身。3歳からバレエを始め、ジャズダンスや声楽のレッスンを重ねる。イギリスに留学しバレエの研鑽を重ね、イギリスのダンス公演等にも出演。2015年6月オーディションに合格し劇団四季へ入団。『オペラ座の怪人』で四季での初舞台を踏み、『ウィキッド』『ライオンキング』にも出演。『パリのアメリカ人』ではヒロイン・リズ役を演じている。





石橋 トニー賞を受賞した時の映像を観て、本格的にバレエを使ったこの作品の存在を知りました。求められているのは本当に高度なバレエの技術ですし、海外では世界レベルのダンサーが演じています。まさか自分にリズを演じるチャンスがあるなんて夢にも思いませんでした。

近藤 入団したばかりでしたし、最初はアンサンブルのオーディションを受けていたのですが、リズ役はバレエの本格的なテクニックが求められる役なので、私がこれまで続けてきたことを生かせる、受けてみようか、でも主役だし……と自問自答し迷っていました。とても悩みましたが、興味があるなら応募してみよう、これまでやってきたことを生かせる可能性がゼロではないなら、と勇気を振り絞りました。

石橋 アンサンブルでオーディションを受けましたが、オーディションが進むうちにリズを受けてみないか、とのお話をいただき、チャンスを与えていただいたのだからと、思いきってチャレンジしました。

劇団四季でバレエシーンを含む作品には『アンデルセン』などがありますが、作品数は限られています。リズはバレエをやってきたからこそ頂けた役だと思います。

近藤 劇団四季に入って最初に出演した『アンデルセン』でも、バレエシーンがあることが自分の支えになりました。好きだという一心で続けてきたバレエの経験が生かせるのは、私にとって大きいことです。

ですが、作品の中でバ・ド・ドゥを踊るパートナーがいること、一人スポットライトの中で踊ることなど、経験しなかったこともたくさんありますし、バレエでは経験があってもミュージカルの中でそれをやるのはまた違いますから、やはり新しいチャレンジです。

——バレエの世界で活躍してきたクリストファー・ウィルドン氏の振付は、現代のバレエを反映し、さまざまなダンスの要素も含みますし、とても高度なテクニックが要求されています。

石橋 全身で感情表現する、ダンスの醍醐味が詰まった振付です。バレエでもこれまで全身を使って踊ったことはなかったかもしれませんが、ウィルドンさんご自身が足先がとてきれいで、足にこだわりのある方ですが、足だけに意識が集中していると踊れない振付になっています。上半身の動きがとて大切。どんなに複雑なステップでも上半身を忘れず全身で感情を表現しなければなりません。



劇団四季 ミュージカル「パリのアメリカ人」

2019年3月19日(火)～8月11日(日・祝) KAAT神奈川芸術劇場(ホール)

作曲:ジョージ・ガーシュウィン 作詞:アイラ・ガーシュウィン

脚本:クレイグ・ルーカス 演出・振付:クリストファー・ウィールドン

出演:劇団四季

全席指定 S 11880円 A・サイドA 8640円 B・サイドB 6480円

C・サイドC 3240円 サイドイス付立見 3240円

劇団四季予約センター 0120-489444 (10:00~18:00)

◎詳細はHPをご覧ください。www.kaat.jp/d/aaip

www.artspress.jp

このマークの記事
にはWEB版だけの
+αコンテンツも!

バレエ、特にクラシック・バレエではステップ自体には特別な意味がないのですが、ウィールドンさんの振付は動きのすべてに意味があるので、その意味を理解して踊ることが日々の課題の一つです。

近藤 これまでバレエを続けていくなかで、常に目指すものがありもつと向上しようとしてきましたが、この作品と出会ったことで、さらにバレエを極めたい気持ちが強くなりました。今改めてバレエに向きあいながら、自分の身体も見つめ直し、より美しくみせることを追求しています。

リズはバレエがとても上手という設定ですから、私自身がその設定に対して、自信を持てなければなりません。自分をもつと磨いて、リズを堂々と演じられるよう、技術的にも表現面でも、バレエを極めていきたいと思っています。

心を開放するダンス
ミュージカルの醍醐味
アンサンブルシーン

——リズは魅力的な、そして謎めいた女性として描かれています。

石橋 戦争で心に傷を負い、本心を見せず思いを心に封じ込めて生きているのです。だからこそ周りもつと彼女のこと

を知りたくなり、彼女に興味を持つのではないのでしょうか。ですが踊っている時だけは自分を解放できる、踊っている時が本来の彼女なんだと思います。キラキラ輝いている本当の姿がふつと見える時があつて、一層周りの男性の心を惹きつけるのかなと思います。

近藤 戦争を経験したことが大きいと思います。さまざまなことを経験し、傷や影を持っています。本人はそれを周りの人に見せないようにしており、感情を表にあまり出しません。そのリズがジェリーと出会ったことにより、純粹に笑うことができ、普段は閉じ込めていた明るさや、本当の彼女自身を表に出すことができるようになったのだと思います。

——お好きなシーンを教えてください。

石橋 今までアンサンブルを演じていたこともあり、皆と一緒に作っていく楽しさのある群舞のシーンが好きです。リズがアンサンブルと一緒に踊るのは、第一幕の「ギャラリー・ラファイエット」のシーン、そして第二幕の「パリのアメリカ人」のバレエシーンです。特に「パリのアメリカ人」のバレエでは、全員で同じ振りをするところがあり、みんなのエネルギーが感じられて大好きです。ミュージカルの醍醐味ですね。

近藤 「ギャラリー・ラファイエット」のシーンは、リズがはじめて自然と笑顔になるとても大事なシーンです。その後のセーヌ湖畔でジェリーと会うシーンでも、歌やダンスを通じてどんどんジェリーとの関係が変わっていくところをみていたいです。目が合ったり、笑いあう回数が増えていくので、演じていてもなんだか嬉しくなります。

my theater myself

私にとつてのKAAT神奈川芸術劇場

横浜はおしゃれで素敵な街ですね。おいしいものを食べるのが好きなので中華街に出かけることもあります。KAAT神奈川芸術劇場では2階席から何度か劇団四季の作品を観劇しましたが、四季専用劇場の座席とは舞台を見る角度も違い新鮮に感じられました。(石橋)

劇場全体が大きく、ロビーも広いですね。ホールまでエスカレーターで上がっていくのですが、劇場のデザインが近未来的でワクワクします。実際に舞台に立つとどのように感じられるのか楽しみにしています。(近藤)

取材・文: 守山実花

撮影: 末武和人



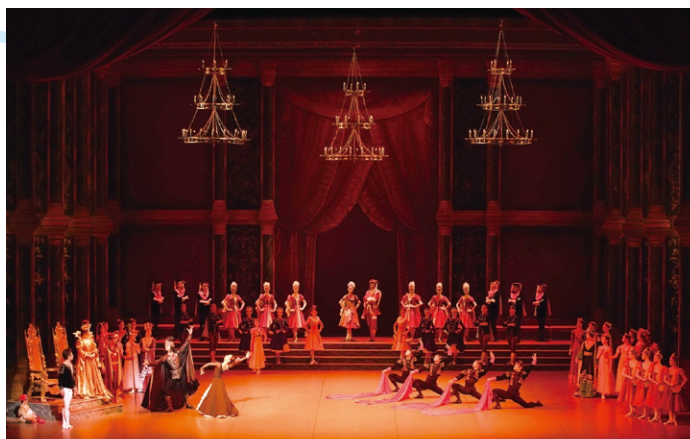


2015年県民ホールオープンシアターより ©Kiyonori Hasegawa



2018年のオルガン見学

©Eri Iwata



「白鳥の湖」より 第3幕

3点とも ©Kiyonori Hasegawa



ジークフリート王子とオディール



悪魔ロットバルト

オープンシアター 2019

神奈川県民ホール

神奈川県立音楽堂

KAAT 神奈川芸術劇場

劇場・音楽堂を色々な角度から楽しめる二日間！

今年のオープンシアターは、リニューアルオープンする神奈川県立音楽堂が会場として再び加わり、三つの館で多彩な企画を実施します。公演鑑賞はもちろんのこと、体験、見学、レクチャー・トークなど通常の公演とは少し違った楽しみ方ができるイベントを多数ご用意しております。開港160周年を迎え大いに賑わう初夏の横浜に皆さまぜひお越しください。

神奈川県民ホールの今年の目玉は、東京バレエ団による「はじめての「白鳥の湖」」楽しいお話と第3幕。クラシック・バレエの代名詞ともいわれる、チャイコフスキーの音楽による「白鳥の湖」は、世界中でさまざまなバージョンが上演されていますが、今回はロシアのブルメイステルによるドラマティックな振付で、第3幕の舞踏会のシーンをお届けします。悪魔ロットバルトとその娘オディール、手下たちが、スペインをはじめとする各国の踊りや華麗な超絶技巧でジークフリート王子を惑わせ、息もつかせずクライマックスに突き進む第3幕は、ブルメイステル版「白鳥の湖」の中でも最大の見せ場。美と技とドラマ、バレエの魅力が凝縮された名場面です。わかりやすいお話付きで、初めての方も安心。音楽は神奈川フィルハーモニー管弦楽団による生演奏でお贈りします。



2018年KAATオープンシアターより バックステージツアー



2017年音楽堂オープンシアターより ミニコンサート



2017年音楽堂オープンシアターより 建築ラリー

オープンシアター 2019

神奈川県民ホール

●東京バレエ団 はじめての「白鳥の湖」～楽しいお話と第3幕

2019年6月2日(日) ①11:30 ②14:30 〈大ホール〉

*休憩なし約60分

出演:東京バレエ団 *配役は決まり次第発表

指揮:富田実里

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 一般(高校生以上)3000円 子ども(4歳~中学生)2000円

親子(一般1枚+子ども1枚)4500円 *4歳から入場可

●音楽のおくりもの オルガンコンサート

2019年6月2日(日) ①11:30 ②14:30 〈小ホール〉

*休憩なし約45分+オルガン見学15分

出演:中田恵子 他

全席自由 500円(小学生以下無料)

*①は0歳から入場可/②は4歳から入場可

※各回入場時に支払い・定員になり次第終了(各回定員400名)

◎その他、多彩なイベントを開催

●ワタリドリ計画・展覧会&ワークショップ

2019年5月29日(水)~6月2日(日) 展覧会 〈ギャラリー〉

2019年6月2日(日) ワークショップ(事前申込制)

神奈川県立音楽堂

●音楽堂で音・体験♪ 建築・探検!

2019年6月1日(土) 10:30 ~

音楽堂全館で音楽と建築が楽しめる

・建築ラリー

・ロビーやホールでのコンサートや音楽体験企画

などを予定

入場無料(0歳児から入場可能・出入り自由)

KAAT神奈川芸術劇場

2019年6月2日(日)(予定)

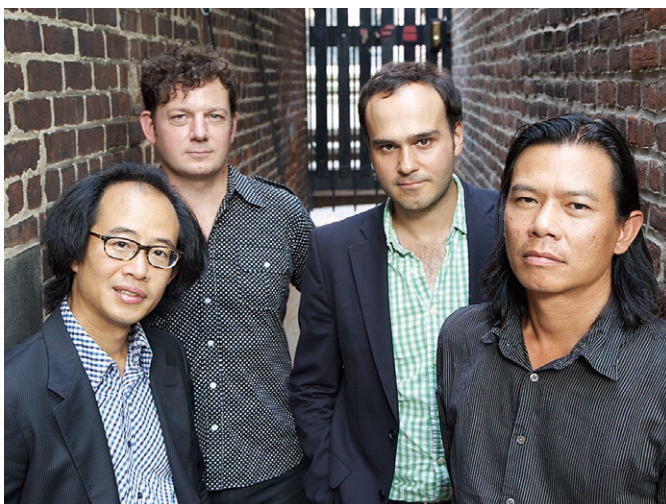
バックステージツアーなど

※最新情報・詳細は各館HPでご覧ください。

開演前にはオーケストラピット見学など、オープンシアターならではのオプションを予定しています。ほかに県民ホールでは、一日を通して楽しいイベントが盛りだくさん! ワンコインで楽しめるパイプオルガンのコンサートは、午前の回は0歳から入場OK。終演後にはステージ上で間近にオルガンを見学することもできます。ギャラリーでは、旅をテーマに日本各地でユニークな活動を行う二人組のアーティスト「ワタリドリ計画」の展覧会とワークショップを開催します。

そして、音楽堂は昨年より1年間の改修工事を終え、オープンシアターでいよいよ新たな幕を開けます。今年も、建築見学や音楽企画など建築・音楽を通して見どころ、聞きどころたっぷり。いつもと違う音楽堂に出会える楽しい一日、お散歩気分でお越しください。

KAAT神奈川芸術劇場でも、バックステージツアーなどを予定しています。子どもから大人まで一緒に楽しめる企画が満載の一日を、ぜひ会場で体験してください。



FLUX Quartet



「ファンタスティック・ガラコンサート 2018」より ©Kiyonori Hasegawa

神奈川県民ホール 2019-2020年ラインナップ

神奈川県民ホール

オペラ、バレエからアートまで。すべての人に多彩な感動を。

大ホール、小ホール、ギャラリーを備えた国内有数の大型文化施設、神奈川県民ホールは、2020年1月17日に開館45周年を迎えます。来るべきメモリアルイヤーに向けて、今年度も多彩なラインナップをお届けします。

2019年度の幕開けは、小ホールのシンボル、国内公共ホールでは初めて設置されたパイプオルガンを気軽に親しめる、お昼休みの無料コンサート、オルガン・プロムナード・コンサート。今年度も毎月約1回のペースで、魅力あふれるオルガン音楽をご紹介します。

全館が街に開かれるオープンシアターは、今年も横浜開港記念祭に合わせ6月2日(日)に開催。1日を通してファミリーで楽しめる多彩なイベントを実施します。(詳細はP67特集ページをご覧ください)

7月には、三浦はつみオルガニシティタルを開催。長年横浜みなとみらいホールのホールオルガニシティを務めてきた実力派オルガニシティが、県民ホールのドイツ製オルガンから紡ぎ出す豊潤な音色を、親密な空間でじっくりと堪能ください。

10月には、国内3劇場の共同制作による「グラントオペラ共同制作「カルメン」」を上演します。

街がクリスマス色に染まる12月。小ホールでは、県民ホールオルガンアドバイザーの荻野由美子によるオルガン・クリスマスコンサートをお贈りします。

2019年の締めくくりは、年末恒例のファンタスティック・ガラコンサート2019。オペラやバレエの名場面、名曲に加え、ジャンルを超えたコラボレーションも必見です。

年明け1月には、神奈川県芸術文化財団の芸術総監督で作曲家の柳慧のプロデュースにより、アメリカからFLUX Quartet (フックス弦楽四重奏団)を招聘し柳慧の弦楽四重奏曲全曲とオール・アメリカン・プログラムの2公演をお届けします。3月には、2020年に創立72年を迎える松山バレエ団が、1994年に生んだ代表作、新「白鳥の湖」全幕を上演します。

ギャラリーでは9月に第55回神奈川県美術展を、10月には日本を代表する現代美術作家の一人であり、演出家としても活躍するやなぎみわの大規模個展を開催。



小ホールのオルガン ©Hiroshi Togo

神奈川県民ホール 2019-2020年ラインナップ

●オルガン・プロムナード・コンサート

4月26日(金)、6月28日(金)、8月30日(金)、9月27日(金)、10月25日(金)、11月22日(金)、
2020年1月31日(金)、2月21日(金)、3月27日(金)〈小ホール〉

●オープンシアター 2019

6月2日(日)〈大ホール〉〈小ホール〉〈ギャラリー〉

●三浦はつみ オルガン リサイタル

7月13日(土)〈小ホール〉

●第55回神奈川県美術展

作品搬入:7月6日(土)・7日(日)〈ギャラリー〉

1期展[平面立体]:9月4日(水)~15日(日)〈ギャラリー〉

2期展[工芸・書・写真]:9月18日(水)~29日(日)〈ギャラリー〉

●グラントオペラ共同制作「カルメン」

10月19日(土)・20日(日)〈大ホール〉

●やなぎみわ展 神話機械

10月20日(日)~12月1日(日)〈ギャラリー〉

●オルガン・クリスマスコンサート

12月20日(金)〈小ホール〉

●ファンタスティック・ガラコンサート2019

12月29日(日)〈大ホール〉

●一柳 慧 プロデュース FLUX Quartet 〈小ホール〉

オール・アメリカン・プログラム:2020年1月11日(土)

一柳 慧「弦楽四重奏曲」全曲演奏会:2020年1月18日(土)

●松山バレエ団 新「白鳥の湖」

2020年3月20日(金・祝)〈大ホール〉

※ラインナップの詳細は神奈川県民ホールHPをご覧ください。



松山バレエ団

やなぎみわ展では関連企画として、音楽や演劇のパフォーマンスも実施します。その他、ボロニーヤ歌劇場、ネザランド・ダンス・シアター、英国ロイヤル・バレエ団、英国ロイヤル・オペラなどの来日公演や、神奈川フィルの定期演奏会「横浜バレエ・フェスティバル2019」など、共催による話題公演も目白押しです。2019・2020年も、神奈川県民ホールで多彩な芸術と出会い、心に残るひとときをお過ごしください。



神奈川県民ホール・オペラ・シリーズ2019 グランドオペラ共同制作 ビゼー作曲 オペラ「カルメン」全4幕

神奈川県民ホール

国内最高峰のソリストとスタッフが総力を挙げて創りあげる「共同制作オペラ」。今年はビゼーの最高傑作として名高いオペラ「カルメン」をお贈りします。恋は野の鳥(ハバネラ)、花の歌、闘牛士の歌……誰もが耳にしたことのある名曲が散りばめられた傑作オペラ「カルメン」は、19世紀スペインを舞台に、魔性の女カルメンが一人の男を翻弄し、悲劇的結末へと至るドラマティックな物語です。古今東西で上演され、世界中で愛される本作を、オペラからミュージカル、演劇、映像、古典芸能まで多彩に活動する演出家、田尾下哲が、大胆かつスタイリッシュ



福井 敬



加藤のぞみ



ジャン・レイサム＝ケーニック



城 宏憲



アグンダ・クラエワ



田尾下 哲 ©福里幸夫

2019年10月19日(土)・20日(日) 各日14:00 〈大ホール〉

指揮:ジャン・レイサム＝ケーニック 演出:田尾下 哲

出演(19日/20日)

カルメン:加藤のぞみ/アグンダ・クラエワ

ドン・ホセ:福井 敬/城 宏憲

エスカミリーヨ:今井俊輔/与那城 敬

ミカエラ:高橋絵理/嘉目真木子

フラスキーダ:清野友香莉/青木エマ

メルセデス:小泉詠子/富岡明子

モラレス:近藤 圭/榎 貴志

スニガ:斉木健詞/大塚博章

ダンカイロ:大沼 徹/加藤宏隆

レメンダード:大川信之/村上公太

合唱:二期会合唱団 児童合唱:赤い靴ジュニアコーラス

管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

全席指定 S16000円~学生2000円(予定)

*4月27日(土) KAm先行 5月11日(土) 一般発売

な演出で現代に蘇らせました。指揮に迎えるのは、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、パリ・オペラ座をはじめ世界各地で活躍する英国人指揮者、ジャン・レイサム＝ケーニック。タイトルロールは、今回が日本での待望のカルメン・デビューとなる神奈川出身の加藤のぞみと、ロシア生まれの美貌のメゾソプラノ、アグンダ・クラエワ。ドン・ホセ役は、日本が誇るスーパーテノール福井敬と、気鋭の若手テノール城宏憲が務めるなど、現代の日本オペラ界を背負い立つ豪華な顔ぶれが集結。美しく洗練された、21世紀版の極上のオペラ「カルメン」に、どうぞご期待ください！



アントネッロ



山下洋輔 ©Akihiko Sonoda



山田和樹



©平舘 平 佐藤俊介



©Yat Ho Tsang 中丸三千繪



ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット
©ノザワヒロミチ (CAPSULEOFFICE)



エリゾ・ヴィルサラーゼ



©Nikolai Puschilin 小尻健太



©momoko japan アルディッティ弦楽四重奏団

©Astrid Karger

神奈川県立音楽堂 2019-2020年ラインナップ

神奈川県立音楽堂

音楽堂リニューアルオープン！



神奈川県立音楽堂は、ル・コルビュジエに学んだ戦後モダニズム建築の祖、前川國男の設計により1954年に誕生した日本初の公立音楽専用ホールです。その唯一無二の音響は、今もなお多くの人々に愛され、国内外の巨匠による伝説的名演を生んできました。

改修工事を終えた6月1日、いよいよリニューアルオープンします。

開館65周年記念にもあたる本年、ますます充実したプログラムで皆さまをお迎えします。

ヴィルトゥオーゾ・シリーズ

世界で活躍する名手たちの演奏をお届け

音楽通をうならせる名演奏シリーズ

今年は全4公演の出演者全てが音楽堂初登場。各公演の聴きどころを横浜の名物カフェでドリンクを楽しみながら識る新企画「街なかトークカフェ」もスタートします。

音楽堂リニューアル後の幕明けを飾る6月は、日本を代表する歌姫、中丸三千繪が登場。オペラアリアや歌曲等の名曲で、世界のオペラハウスを沸かせた新境地を聴かせます。

9月には、名門室内楽団、オランダ・バツハ協会管弦楽団と、新音楽監督に就任したヴァイオリニスト佐藤俊介が披露目

ツアーで来日。バツハと同時代の作曲家を中心に流麗な音楽を聴かせます。

11月はアルディッティ弦楽四重奏団 & 小尻健太 (ダンス)。現代の音楽を驚異的なテクニクで演奏する世界随一の弦楽四重奏団と、ネザール・ダンスシアターのソリストを務め現在ソロで活躍中の小尻が新作振付で共演するハイライトは注目です。

年が明け、2020年1月はいよいよエリゾ・ヴィルサラーゼが音楽堂に登場。ロシア・ピアノニズム継承者の一員として、かつて「グルジアの魔女」の異名で知られ、近年ますます注目を集める実力派ピアニストが、円熟の境地を聴かせるリサイタルです。

音楽堂アフタヌーン・コンサートシリーズ

出演者の楽しいトークを交えて

気軽に音楽を味わえる午後のコンサート

今年の音楽堂アフタヌーン・コンサートは夏・秋・春の3シーズン開催。

毎夏お馴染みの山田和樹率いる東京混声合唱団、今年のテーマは「ジャズ」。ソリストに山下洋輔 (Pf) を迎え繰り広げられる丁々発止のライブのほか、ジャズの名曲の数々を混声合唱でお楽しみください。

神奈川県立音楽堂 2019-2020年ラインナップ

●音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ23

中丸三千繪 ソプラノ・リサイタル 街なか

2019年6月29日(土) 15:00

出演:中丸三千繪(ソプラノ) 安達朋博(ピアノ)

*4月6日(土) KAme先行 4月14日(日) 一般発売

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ24

佐藤俊介とオランダ・バツハ協会管弦楽団 街なか 建築

2019年9月29日(日) 15:00

出演:佐藤俊介(音楽監督/ヴァイオリン) オランダ・バツハ協会管弦楽団

*6月22日(土) KAme先行 6月29日(土) 一般発売

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ25

アルディッティ弦楽四重奏団 & 小尻健太(ダンス) 街なか 建築

2019年11月30日(土) 15:00

出演:アルディッティ弦楽四重奏団 小尻健太(ダンス)

*6月22日(土) KAme先行 6月29日(土) 一般発売

音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ26

エリソ・ヴィルサラーゼ ピアノ・リサイタル 街なか

2020年1月13日(月・祝) 15:00

*6月22日(土) KAme先行 6月29日(土) 一般発売

◎各公演共通: 全席指定 一般6000円 シルバー(65歳以上)5500円

学生(24歳以下)3000円

◎4公演セット券(一般券のみ): 20000円(予定数に達し次第終了)

3月23日(土) KAme先行 3月30日(土) 一般発売

●音楽堂アフタヌーン・コンサート

山田和樹指揮 東京混声合唱団 建築

2019年8月23日(金) 14:00

出演:山田和樹(指揮) 山下洋輔(独奏ピアノ)

東京混声合唱団 [共催]緑区制50周年特別記念合唱団

*4月14日(日) KAme先行 4月20日(土) 一般発売

アントネッロ「レオナルド・ダ・ヴィンチ 音楽の謎解き」

2019年10月12日(土) 14:00

出演:濱田芳通(コルネット/リコーダー) 石川かおり(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

西山まりえ(ルネサンスハープ/チェンバロ) 他

*6月22日(土) KAme先行 6月29日(土) 一般発売

ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

2020年3月20日(金・祝) 14:00

出演:ブルーオーロラ サクソフォン・カルテット

*8月10日(土) KAme先行 8月17日(土) 一般発売

◎各公演共通: 全席指定 一般3500円 学生(24歳以下)2500円

◎3公演セット券(一般券のみ): 9000円(予定数に達し次第終了)

3月23日(土) KAme先行 3月30日(土) 一般発売

●三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ! みんなでピカピカ☆編

2019年8月17日(土) 15:00

出演:三ツ橋敬子(指揮) 三浦友理枝(ピアノ)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 他

全席指定 中学生以下無料 一般3500円 学生(高校生~24歳)1500円

※関連企画 決定次第HP等で発表します。

*4月14日(日) KAme先行 4月20日(土) 一般発売

●第54回 音楽堂クリスマス音楽会「メサイア」全曲演奏会 建築

2019年12月15日(日) 14:30

出演:小泉ひろし(指揮) 山口清子(ソプラノ) 上杉清仁(カウンターテナー)

中嶋克彦(テノール) 加来 徹(バリトン) 神奈川県合唱連盟(合唱)

音楽堂「メサイア」未来プロジェクト(高校生合唱) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 他

全席指定 1500円

*9月7日(土) KAme先行 9月14日(土) 一般発売

●オープンシアター 2019

P6-7の特集をご覧ください。

●開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト

次ページの特集をご覧ください。

街なか 街なかトークカフェ

コンサートに100倍楽しむために…。各公演前に音楽堂近くのカフェなど街なかスポットで、クラシックソムリエが皆さまをお出迎え。一杯のお飲み物とともに講師のレクチャーや語り合いを楽しむ「トークカフェ」を開催します。

*詳細は決定次第HP等で発表予定

建築 建築ガイドツアー

前川國男の名建築の魅力を探る、専門ボランティアガイド、bridgeによるツアーを実施します。

*詳細は決定次第HP等で発表予定



三ツ橋敬子

©大杉集平



メサイア

©青柳聡

秋に贈るのは、「レオナルド・ダ・ヴィンチ 音楽の謎解き」。ルネサンス期万能の天才、ダ・ヴィンチの没後500年を記念して、彼が作曲、プロデュースしたといわれる幻のオペラをテーマに、ルネサンス音楽のエキスパート、アントネッロが、スケッチなどを基に同時代の音楽やバロックダンスで再構成します。

春は、実力、人気とも日本を代表するサクソフォン奏者、平野公崇をリーダーにトップレベルのプレイヤーが集結

したパワフルなアンサンブル、ブルーオーロラサクソフォン・カルテットが音楽堂初お目見え。驚愕のアンサンブルでサクソフォンの魅力をたっぷり聴かせてくれます。

今年も開催! 「夏オケ」メサイア

8月の夏休みは、今年も楽しい企画満載の「三ツ橋敬子の夏休みオーケストラ! みんなでピカピカ☆編」。ソリストに三浦友理枝(Pf)を迎え、子どもたちに

「オープンシアター」と「室内オペラ・プロジェクト」については、それぞれ6ページ、12ページの特集をご覧ください。

音楽の楽しさを届けます。

そして12月は、50年以上親しまれている「メサイア」でクリスマスをお迎えください。世代を超え歌い繋がる圧巻の歌声は、深い感動へと導いてくれることでしょう。



エウローパ・ガランテ



ファビオ・ピオンディ



アンサンブル・ルシリン

©Emile Hengen

開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト

神奈川県立音楽堂

バロックと現代、二つのオペラ



開館65周年記念 音楽堂室内オペラ・プロジェクト

ボーダーレス室内オペラ／

川端康成生誕120周年記念作品

「サイレンス」

日本初演(フランス語上演／字幕付)

2020年1月25日(土) 14:00

原作:川端康成「無言」

音楽:アレクサンドル・デスブラ

台本:アレクサンドル・デスブラ／ソルレイ

演出:シャルル・シュマン

衣装:ピエルパオロ・ピッチョーリ (VALENTINO)

出演:エマニュエル・オリヴィエ (指揮)

アンサンブル・ルシリン (管弦楽)

カミーユ・ブル(ソプラノ)

ミハイル・ティモシエンコ(バリトン) 他

全席指定 一般6000円 シルバー(65歳以上)5500円

学生(24歳以下)3000円

バロック・オペラ

ヘンデル「シッラ」全3幕 **建築**

日本初演(イタリア語上演／字幕付)

2020年2月29日(土)・3月1日(日) 各日14:00

音楽監督:ファビオ・ピオンディ (指揮／ヴァイオリン)

演出:彌勒忠史 美術:tamako☆

出演:エウローパ・ガランテ(管弦楽)

ソニア・プリナ(コントラート)

ヴィヴィカ・ジュノー(メソソプラノ) 他

全席指定 S 15000円 A 12000円 B 10000円

学生(24歳以下)8000円

◎2公演共通:8月31日(土) KAmE先行 9月7日(土) 一般発売

◎2公演セット券:19000円

「サイレンス」一般+「シッラ」S席(予定数に達し次第終了)

3月23日(土) KAmE先行 3月30日(土) 一般発売

開館65周年を機に、神奈川県立音楽堂では木のホールの響きと、日本の室内楽の歴史を彩ってきた輝かしい伝統を活かし「音楽堂室内オペラ・プロジェクト」をスタート。2020年初頭、話題をさらうこと間違いなしの二つのオペラをお届けします。

一つ目は川端康成生誕120周年を記念した現代オペラ「サイレンス」。鎌倉かりのノーベル賞作家、川端の短編「無言」を、「ジェイブ・オブ・ウォータ」等アカデミー賞、ゴールデン・グローブ賞受賞で知られる映画音楽界の巨匠、デスブラが初のオペラ化。衣装はVALENTINOのチーフデザイナー、ピエルパオロ・ピッチョーリ、演奏は現代音楽の世界で定評あるアンサンブル・ルシリンと話題満載。映像も駆

使した新感覚の舞台をお届けします。

2月末には、世界の古楽ムーブメントの頂点を走るファビオ・ピオンディがエウローパ・ガランテを率い、満を持して再々登場。2014年音楽堂開館60周年事業で上演されたヴィヴァルディのオペラ「メッセニアの神託」は客席を熱狂の渦に巻きこみ、その年の音楽誌、新聞等でも「ベストオペラ」にも選ばれ注目を集めました。その際ピオンディがタッグを組んだ彌勒忠史(演出)ほか日本側のプロダクションで、今回はヘンデルの謎のオペラといわれる「シッラ」を復刻します。音楽堂が、歓喜の響きに再び包み込まれることでしょう。

*お得なセット券は3月発売開始です。

KAAT神奈川芸術劇場 2019年度 主なラインアップ

●「春のめざめ」 4月13日(土)~4月29日(月・祝)〈大スタジオ〉

●KAAT EXHIBITION 2019

「小金沢健人展 Naked Theatre-裸の劇場-」

4月14日(日)~5月6日(月・振)〈中スタジオ〉

●KAATキッズ・プログラム2019

「KAATキッズ・サマー・パーティー 2019 in KAAT高原キャンプ場」

5月3日(金・祝)~5月6日(月・振)〈大スタジオ〉

●「恐るべき子供たち」

5月18日(土)~6月2日(日)〈大スタジオ〉

●KAAT×地点 共同制作第9弾

地点「シベリアへ! シベリアへ! シベリアへ!」

5月27日(月)~6月2日(日)、7月13日(土)~16日(火)〈中スタジオ〉

●「ゴドーを待ちながら」 6月中旬〈大スタジオ〉

原作:サミュエル・ベケット

翻訳:岡室美奈子(白水社「新訳ベケット戯曲全集1」)

演出:多田淳之介

●「ビビを見た!」 7月上旬〈大スタジオ〉

原作:大海 赫 上演台本・演出:松井 周

出演:岡山天音 石橋静河 樹里咲穂 久沢 徹 瑛蓮 師岡広明

●KAATキッズ・プログラム2019「グレーテルとヘンゼル」

7月下旬〈大スタジオ〉

脚本:スザンヌ・ルポー 演出:ジェルヴェ・ゴドロ

出演:土居志央梨 小日向星一

●KAATキッズ・プログラム2019

海外招聘作品 PONTEN PIE「Loo」

7月27日(土)・28日(日)〈大スタジオ〉

●KAATキッズ・プログラム2019「二分間の冒険」

8月中旬〈大スタジオ〉

原作:岡田 淳 上演台本・演出:山本卓卓(範田遊泳)

出演:百瀬 朔 佐野瑞稀 下川恭平 亀上空花 小林那優 若松武史

●新作ミュージカル「怪人と探偵」

9月14日(土)~9月29日(日)〈ホール〉

原案:江戸川乱歩 作・作詞・楽曲プロデュース:森 雪之丞

テーマ音楽:東京スカパラダイスオーケストラ

作曲:杉本雄治(WEAVER) 演出:白井 晃

出演:中川晃教 加藤和樹 大原櫻子 他

●KAAT DANCE SERIES 2019 日仏コラボレーションプロジェクト

頭と口×Defracto「妖怪ケマメ:L'esprit des haricots poilus」

10月〈大スタジオ〉

出演:渡邊 尚(頭と口) Guillaume Martinet(Defracto) 野村 誠

●KAAT DANCE SERIES 2019

韓国国立劇場×テロ・サーリネン「VORTEX」 10月〈ホール〉

作品制作&出演:韓国国立劇場舞踊団 振付:テロ・サーリネン

●「ドクター・ホフマンのサナトリウム〜カフカ第4の長編〜」(仮)

11月〈ホール〉 作・演出:ケラリーノ・サンドロヴィッチ

●KAAT・KUNIO共同製作 KUNIO15「グリークス」 11月〈大スタジオ〉

編・英訳:ジョン・パートン ケネス・カヴァンダー

演出・美術:杉原邦生 翻訳:小澤英美

●「常陸坊海尊」 12月〈ホール〉

作:秋元松代 演出:長塚圭史

●KAAT DANCE SERIES 2019「NIPPON-CHA!CHA!CHA!」

2020年1月〈大スタジオ〉 作:如月小春 振付・演出:山田うん

●「アルトゥロ・ウイの興隆」 2020年1月〈ホール〉

作:ベルトルト・ブレヒト 演出:白井 晃

●国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2020

2020年2月8日(土)~2月16日(日)(予定)

KAAT 神奈川芸術劇場 他

※上記は、2019年2月6日制作発表時点での情報です。最新情報は当HPで随時お知らせいたします。

※4~5月の公演情報詳細については、15ページをご覧ください。

KAAT神奈川芸術劇場
2019年度ラインアップ

KAAT 神奈川芸術劇場

演劇、ダンス、アート…
KAATの挑戦は続きます!

2月6日、KAAT神奈川芸術劇場にて、2019年度のラインアップが発表されました!

当日は、白井晃芸術監督進行のもと、各演目の主軸を担うアーティストの方々と、総勢10名にご登壇いただきました。「常々、KAATという場所が演劇、ダンス、身体表現、現代美術、音楽という表現のコンプレックスでありたいと考えてきました。公共劇場として表現の幅をさらに広げ、いかに力強いかに多くの人に舞台芸術の魅力を感じてくれるかを考えてのラインアップになったのでは」と語る白井晃芸術監督。

2019年度は、白井演出作品の連

続上演企画「春のめざめ」「恐るべき子供たち」で幕を開け、地点の三浦基、松井周、多田淳之介らが続々登場します。今回で4回目になる劇場が仕掛ける展覧会「KAAT EXHIBITION」では小金沢健人が新作を発表し、お馴染みのキッズ・プログラムでは、気鋭の演出家山本卓卓による新作を上演、ダンスシリーズでは森雪之丞が作・作詞・楽曲プロデュースを手掛ける新作ミュージカル、KAAT初登場のケラリーノ・サンドロヴィッチによる新作、昨年の「セールのスマンの死」の記憶も新しい長塚圭史による秋元松代作



後列左から
白井晃、小金沢健人、多田淳之介、松井周、山本卓卓
前列左から
森雪之丞、渡邊尚、ケラリーノ・サンドロヴィッチ、
杉原邦生、長塚圭史、山田うん
撮影:岡千里

品、杉原邦生によるギリシャ悲劇、白井監督によるプレヒト作品など、話題作が目白押しです。2019年度もKAATの挑戦にぜひ、ご注目ください!

共生共創事業

ともに生きる ともに創る

KANAGAWA ALL-COMERS STAGE 共生共創事業

神奈川県では、県の重点施策である「共生社会の実現」「未病」などの取組とマグネット・カルチャー（マグカル）をクロスさせ、誰もが参加できる舞台公演などの事業“共生共創事業”を、みなとみらいの“県民共済みらいホール”を拠点として実施しています。

2018年度事業実施結果

2018年度は、国内外ですでに活動実績のある団体やアーティストによる上演や、活動をサポートしていくための人材育成講座を実施してきました。障がい、年齢、国籍を越えて行われている創作活動を実際に観ていただくことで、県民の皆さまが「自分もやれる」「やってみたい」という想いを実現するきっかけになればと思います。

●2018年度公演等実績

[演劇×高齢者]

さいたまゴールド・シアター「ワレワレのモロモロ2018」

〈日程〉2018年10月13日(土)・14日(日)

〈会場〉県民共済みらいホール

[ワークショップ×多文化共生]

ルーン・プロダクション ワークショップ

〈日程〉2018年11月13日(火)

〈会場〉象の鼻テラス

[音楽×多文化共生]

テュルクソイ(国際テュルク文化機構)結成25周年記念コンサート
「テュルク世界のたいなる遺産」

〈日程〉2018年11月15日(木)

〈会場〉県民共済みらいホール



「テュルク世界のたいなる遺産」



さいたまゴールド・シアター「ワレワレのモロモロ」

©宮川舞子

[音楽×多世代]

Experimental Gig「FuturamaX/フューチャラマックス」

〈日程〉2018年12月24日(月・振)

〈会場〉県民共済みらいホール

[ダンス×多世代]

Blue Print Presents「SAKEBU-叫ぶ」

〈日程〉2019年1月17日(木)～20日(日)

〈会場〉県民共済みらいホール

[ボイス・パフォーマンス、ダンス×多文化共生]

TPAM in Yokohama 2019 Fringe

台湾 ART WAVE「複数の連続体／The Spectrums」

〈日程〉2019年2月14日(木)～15日(金)

〈会場〉県民共済みらいホール

[ダンス×共生]

ストップギャップ ダンスカンパニー

エノーマスルーム(果てしない部屋)

〈日程〉2019年3月3日(日)

〈会場〉あすぷらざ(神奈川県立地球市民かながわプラザ)

[身体表現×高齢者]

かながわ高齢者創作創造プロジェクト

「チャレンジ・オブ・ザ・シルバー」プレゼンテーション&説明会

〈日程〉2019年3月15日(金)

〈会場〉県民共済みらいホール

●2018年度人材育成講座実績

2018年7月17日(火) 第1回 キックオフレクチャー

2018年8月23日(木) 第2回 障がい者の舞台芸術(1) ～これまでの展開と現在の動向について 劇場、表現者、支援機関の立場から～

2018年9月11日(火) 第3回 障がい者の舞台芸術(2) ～スローレーベル流 インクルーシブな創作現場の作り方～

2018年10月15日(月) 第4回 高齢者の舞台芸術 ～これまでの展開と現在の動向について 劇場、表現者、支援機関の立場から～

2019年3月22日(金) 第5回 共生共創事業シンポジウム ～2018年の活動紹介 育成講座の成果について～ (予定)

主催：神奈川県
協力：神奈川県民共済生活協同組合

企画製作：KAAT 神奈川芸術劇場
公益財団法人神奈川芸術文化財団
公式サイト kyosei-kyoso.jp



ともに生きる

ME-BYO®

県民共済

KAAT
KANAGAWA ARTS THEATRE



中心にメダルが輝く
トニー賞のトロフィー

演劇の小箱

ショービジネス界の4大アワード

知れば、
知るほど、
好きになる

テニスの4大大会のように、アメリカのショービジネス界にも4大アワードがあります。音楽のグラミー賞（授賞式は1～2月）、映画のアカデミー賞（2～3月）、演劇のトニー賞（6月）、そしてテレビのエミー賞（9月）。いずれもその分野における最高の栄誉と位置づけられ、受賞すれば後世に名を残すことになり、ノミネートだけでも経歴に箔がつくことは間違いありません。

その4大アワードを、全制覇した人があるのをご存知でしょうか。**Emmy / Grammy / Oscar / Tony**の頭文字をとって“EGOT”と呼ばれる快

挙を成し遂げたのは、史上たったの15人だけ。昨年秋には、「ジーザス・クライスト・スーパースター」「エビータ」などで知られるミュージカル界の大御所アンドリュース・ロイド＝ウェバーとティム・ライスのコンビが、唯一手にしていなかったエミー賞を受賞したことで、EGOTを達成しました。

じつは4大アワードのうち3賞を獲得し、EGOTにリーチをかけている人が大勢いるのですが、残るひとつを取るのが最大の難関。なかなか達成できないからこそ、アメリカではアワードシーズンを迎えるたびに、EGOTの話題がメディアを賑わ

せるのです。

いずれの賞も、業界関係者が投票で選ぶのが共通点。一番少ないトニー賞でも約850人、アカデミー賞は約6千人、グラミー賞は約1万3千人、エミー賞は約2万4千人の業界人が、プロの目で評価して票を投じる。だからこそ受賞は最高の栄誉ですし、観客にとっては作品選びの目安になってくれます。KAAT神奈川芸術劇場では3月19日から、トニー賞で振付賞など4部門に輝いたミュージカル「パリのアメリカ人」が上演されるので、お見逃しなく。

文：浮田久子

楽器ミュージアム

オーケストラの打楽器？

ミュージカル「パリのアメリカ人」は、ガーシュウィンが1928年に作曲した同名の交響詩を基にしています。この管弦楽曲でガーシュウィンは、タクシーの警笛をパリから取り寄せ用いました。このような「楽音」ではない音を出す楽器(?)は、オーケストラでは多くの場合、打楽器セクションが担います。今回はそんな打楽器のお話。

20世紀初め、マーラーは「交響曲第6番『悲劇的』」(1903-04)で、細い枝を束ねた笄、牛の首に吊り下げるカウベル、さらに大型の木槌などを用いました。この規格外の打楽器に人々は驚愕し、右のような風刺画が週刊誌に載るほどでした。1917年には、パリ・シャトレ座で初演されたバ

レエ「パレード」(コクトー台本、ピカソ美術)で、作曲者のサティはサイレンやタイプライター、ラジオの雑音、ピストル、空き瓶などを用い、その奇想天外さに会場は騒然としたそうです。「黄金の1920年代」に入ると、ヴァレーズが楽器の制約から「音楽を開放」するとして、ニューヨーク消防署のサイレンを管弦楽曲に用い、時代の喧騒にふさわしいモダンな響きは大いにもてはやされました。

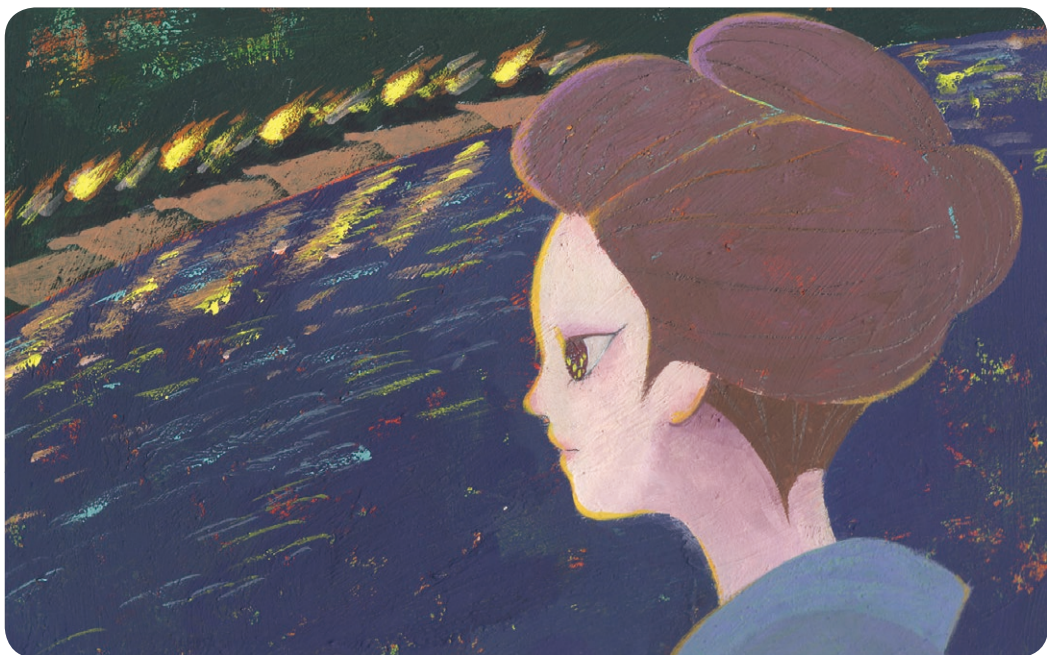
以降、現代音楽の作曲家たちは自分を取りまく環境からさまざまな音＝打楽器をオーケストラに持ち込み、新しい響きを探索していきます。日本の主要作曲賞を総なめにした坂田直樹氏の「組み合わせられた風景」(2016)では、蛇腹ホースを振り廻す、

アルミホイールやレジ袋を擦るなどした音を楽器音と重ね、斬新な響きをオーケストラから引き出しました。新たな音響世界を開く現代管弦楽曲、要注目ですね。



© Lebecht Music & Arts / Alamy Stock Photo

週刊誌『DIE MUSKETE』1907年1月19日発行。画の下の「警笛を忘れてた！これでもう1曲交響曲が書けるぞ」の言葉は、「パリのアメリカ人」を予言しているかのよう



イラスト：遠藤裕喜奈

川端康成 「篝火」

川端康成の著作の中で「ちよもの」と呼ばれる一群の作品があります。成就しなかった初恋の人を扱ったもので、主な作品だけでその数20を越え、川端文学のひとつの分野をなしています。

1919年、第一高等学校生の川端康成は、級友と連れ立ち本郷のカフェ・エランに通うようになります。そこで13歳の女給・伊藤初代と出会うのです。店では「ちよ」と呼ばれていた、透き通るような色白の痩せた娘でした。

川端が初代に惹かれたのは、二人の生い立ちに共通する何かを感じたからでしょうか。川端は2歳で父を、3歳で母を亡くします。その後、祖父母と暮らしますが、8歳で祖母と、12歳の時には離れて住んでいた姉と、16歳で祖父とも死別します。旧家で財産はあり金銭的に苦労はしませんでした。天涯孤独の身となります。一方、初代は8歳で母を亡くし、翌年、尋常小学校を4年で中退。父と別れ上京し子守り奉公に出て、12歳の頃には女給として働き始めます。川端と初代の二人は、温かい一家団欒を知らずに育ったのです。

1920年、カフェ・エランのマダムは結婚を期に店を閉じ、初代はマダムの姉がいる岐阜の寺にあずけられます。翌1921年、川端は岐阜に初代を訪ね求婚します。川端22歳、初代はまだ15歳でした。この時を題材にしたのが小説「篝火」です。結婚の約束をした二人は長良川沿いの宿の二階から鵜飼を見物します。鵜飼の篝火^{ほむら}を映した初代の横顔を見た川端は「こんな美しい顔は彼女の人生に二度とあるまい」と書いています。しかし、運命は若い二人に冷たく、結局結ばれることなく別れてしまうのです。

その後初代は1951年に44歳で死去。1972年に子息が鎌倉市の鎌倉霊園に墓地を購入し、6月3日に母の遺骨を移します。偶然にもその同じ日、同じ鎌倉霊園に、同年4月16日に亡くなった川端は納骨されました。

川端康成 Yasunari Kawabata (1899～1972)

大阪府生まれ。近現代の日本文学を代表する作家。新感覚派作家として注目され、日本独自の美意識を追求した。1968年ノーベル文学賞受賞。代表作は「伊豆の踊子」、「禽獣」、「雪国」、「眠れる美女」、「古都」、「美しい日本の私—その序説」など多数。

Creative
Neighborhoods
街と
住まい

第5回

ベッドタウンからニュー・ニュータウンへ
「南万騎が原」

野原 卓

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授。
東京大学助手・助教などを
経て現職。横浜市の都市デ
ザインや大田区モノづくりの
まちづくりを始め、現場とデ
ザインをつなぐ都市デザ
インマネジメントなどの実践・
研究活動を展開。著書に『ま
ちをひらく技術』（共著・学芸
出版社）『アーバンデザイン
講座』（共著・彰国社）など。



リ・デザインされた南万騎が原駅前の「みなまきみんなのひろば」で開催された「みなまきピクニック」の様子



南万騎が原駅リノベーション(みなまきみらいプロジェクト)とみなまきラボ
図版提供:みなまきラボ運営委員会



みなまきラボでは、研究会から体験ワークショップまで、
さまざまな活動が生みだされている

高度経済成長期、急激な人口増加と都
市流入に対応するために、都市辺縁部の
里山を削って生み出された郊外住宅地。
横浜市では、6割が郊外に居住している
ともいわれている。そこでは当時の再先
端の都市計画技術を用いて、とても閑静
で美しい住宅地を形成することはでき
たが、その急激な開発の結果、やや個性に欠
き、同じような住居、世帯構成、年齢層が
集まっており、数十年の時を経て、急激な
高齢化を促され、ニュータウンがオールド
タウンとなってしまう懸念を抱えている。
そんな中で、単なるベッドタウンから、土
日も過ごしたくなる、遠くからも遊びに
来てくれる、さまざまな世代が集まって
暮らす「まち」を目指して、郊外住宅地全
体のリノベーションが求められている。

相鉄いずみ野線沿線も、昭和30年代か
ら50年代にかけて集中的に郊外住宅地が
開発されており、多分に漏れず、高齢化
と人口減少の未来を待つ状況である。こ
れを食い止めるべく、沿線では「みらいに向
けたまちづくり」を掲げ、公(公共的立場)
×民(民間や住民)×学(大学や専門機関連
携で新たなライフスタイル構築を目指す
とともに、「駅前リノベーション」として
住み替えと多世代循環をめざした再生が
試みられている。南万騎が原駅周辺でも
リノベーションプロジェクトが実施され
商業施設の建替へ、多世代居住のための
多様な集合住宅建設が行われるとともに、
やや鬱蒼としていた駅前広場をリ・デザ
インして、子どもたちとのワークショップ
も交えた魅力ある広場(みなまきみんなの
ひろば)が創られた(設計:stg)。同
時に、駅周辺では、「みなまきラボ」と呼ば
れる拠点を相鉄グループ・横浜市・横浜
国立大学・オンデザインパートナーズ(設
計事務所)らがともに運営しており、運
営パートナーや、地域の力を発揮するラ
ボ会員などと協働して、子ども向け体験
企画、多世代交流のための企画、地元農
家による直売所など、さまざまな活動が
企画そして実施されている。2017年
11月には、こうした力が集まって、地域
の文化祭のような「みなまきピクニック」
が開催された。地域の地域による地域の
ためのイベントとなったこの取り組みで
は、普段なかなか表に出られないけれど
実はとても高いスキルやパワーを持つてい
るお母さんやクラフト作家などが集まった
(2018年も開催)。

かながわ
芸能
歳時記

第18回

豊作への願いを芸能に託して
鶴見の田祭り
(横浜市鶴見区／鶴見神社／4月)



子どもたちによる早乙女の早苗植え

WEB
+a!

監修…神奈川県民俗芸能保存協会会長 石井一躬
協力…鶴見田祭り保存会
写真提供…鶴見田祭り保存会

住所：神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央1-14-1 (鶴見神社)
交通：JR京浜東北線「鶴見」駅下車 東口から徒歩5分
京浜急行本線「京急鶴見」駅下車 徒歩5分
日程：2019年4月29日 18:00頃より
お問合せ：鶴見田祭り保存会 045-501-4122

●同時期(4、5月)開催のその他の祭り

中井の鶴の舞(鶴見区中井町／中井五所八幡宮／4月26日)
湯立獅子舞(箱根町仙石原／公時神社／5月5日)

鶴見の田祭りは、鶴見神社で毎年4月29日(昭和の日)に、豊作と子孫繁栄を祈願して斎行されます。鎌倉時代以前から続く横浜最古の民俗芸能で、かつては正月16日に行われていました。近代化の波に曝され1872(明治5)年から100余年廃絶していましたが、貴重な伝統文化を復活させようと、鶴見神社の金子元重宮司や鶴見歴史の会、地元有志による調査研究を経て1987(昭和62)年に再興されました。境内の舞台で悪霊退散の矢を放った後、田んぼに見立てた「ヤッサイ」を囲み、春の田起こしから、苗代掻き、種蒔き、田植え、草取り、鳥追い、秋の稲刈り、そして豊年祝いまで、米ができるまでの一連の農作業を神寿歌に合わせて演じます。

早乙女や牛など子役も活躍し、道化の豊年祝の踊りもある楽しい祭り。最後に紅白の祝餅がまかれ、駅前から巡行した万灯神輿も宮入し、歓声の中、祭りは終わります。

more! カナガワ

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会県民ホール名曲シリーズ第5回

「アメリカ」新世界で生まれ育ち移り行く音楽達

2019年4月20日(土) 15:00 神奈川県民ホール 指揮：太田 弦
ピアノ：阪田知樹 チェロ：佐藤晴真 司会：田添菜穂子
コーブランド「ロデオより」カウボーイの休日 アンダーソン/タイプライター 他
全席指定 S 6000円 A 4500円 B 3000円 ユース(25歳以下)当日のみ1000円
神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 (平日10:00-18:00)
www.kanaphil.or.jp/ @kanagawaphil @instagram.com/kanagawaphil

神奈川近代文学館

特別展「巨星・松本清張」

2019年3月16日(土)～5月12日(日)
開館時間：9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日(4/29、5/6は開館)
社会派推理小説「点と線」などで「清張ブーム」を巻き起こし、時代小説「かげろう絵図」、ノンフィクション「日本の黒い霧」、古代史論考「清張通史」など幅広い作品で知られる松本清張(1909～1992)。約400点の資料で清張の多彩な作品世界を展覧します。観覧料：一般600円(65歳以上・20歳未満割引あり/中学生以下は無料) TEL.045-622-6666 www.kanabun.or.jp

神奈川県立近代美術館 葉山

日本・ポーランド国交樹立100年記念 ポーランド・ポスター展(予定)

2019年4月6日(土)～6月23日(日)
開館時間：9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日：月曜日(4/29、5/6は開館)
ポーランドとの国交樹立100年の今年、1960～70年代を中心とした館蔵のポスター 290点よりポーランド・ポスター黄金期の14作家176点を展覧します。
観覧料：一般1000円 20歳未満・学生850円 65歳以上500円 高校生100円
TEL.046-875-2800 www.moma.pref.kanagawa.jp/

神奈川県文化課

神奈川かもめ「短編演劇」フェスティバル2019 本戦

通称「かもフェス'19」は、全国から選抜された10団体が、20分以内の「短編演劇」で大賞を競い合う演劇フェスティバルです。今回、審査委員長には、女優で日本劇作家協会会長の渡辺えり氏をお迎えしています。全て短編作品なので、演劇初心者の方もぜひお気軽にお越しください。
2019年3月21日(木・祝) 公開練習日(入場無料・詳細はHPで)・22日(金) 18:30-23日(土) 14:00-24日(日) 12:00/16:00 ※開場は開演の30分前
会場：KAAT神奈川芸術劇場大スタジオ 料金：大人1000円 高校生以下500円
TEL.045-548-4512 (かもフェス'19事務局)

REVIEW

上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA II

2018年11月17日(土) 神奈川県民ホール〈大ホール〉

出演:上野水香、下村由理恵、吉岡美佳、小野絢子、渡辺理恵、沖香菜子、田頭綾女、
ウラジーミル・マラーホフ、マルセロ・ゴメス、京當侑一龍、今井智也、福岡雄大、柄本 弾、秋元康臣 他



上野水香、マルセロ・ゴメス「リベルタンゴ」(高岸直樹:振付)

©Kiyonori Hasegawa

神奈川が誇るバレエダンサー、上野水香がプロデュースしたバレエ・ガラが、国内最高峰のダンサー達と、海外からマラーホフ、ゴメスを迎え開催されました。マラーホフ、下村由理恵、吉岡美佳らベテランの深い表現、今をときめくプリンシパルたちのまばゆいばかりの妙技、上野と柄本による渾身の「ボレロ」(プティ振付)、初共演の上野とゴメスの熱くスタイリッシュな「リベルタンゴ」など、クラシックの名作から、ベジャールやプティ作品、邦人振付家による新旧作品まで、美しさとテクニックと個性が披露され、上野自身が名付けたタイトルどおり宝石をちりばめたようなステージとなりました。新作振演出演した高橋竜太による映像演出が所属を超えたダンサーの供宴に統一感と個性をもたらしていました。

お客様の声

ジュエルの輝きを堪能しました。(40代女性)

オープニングからエンディングまで、演出が素晴らしい。アーティストの方々のステージに酔いしれました。(60代男性)

珍しい演目、新しい演目、定番のバランスがよかった。カンパニーの制約のない人選も楽しくて良い。(40代男性)

プティのボレロは水香さんの代表作になると思います。(50代女性)

上野水香は格好良すぎる。世界でも一流のバレリーナだ。(70代男性)

公益財団法人神奈川芸術文化財団をご支援いただいている方々

公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員制度を始めとしたさまざまなご支援の仕組みを通じて、広く皆さまからご寄附・お力添えをいただいております。

公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

法人賛助会員 株式会社アクトエンジニアリング/アサヒビル株式会社/アズビル株式会社/学校法人岩崎学園/株式会社ヴォートル/株式会社エス・シー・アライアンス/株式会社NHKアート株式会社/勝烈庵/一般財団法人神奈川県教育福祉振興会/公益財団法人神奈川県結核予防会/神奈川県信用保証協会/株式会社神奈川孔文社/株式会社神奈川保健事業社/神谷コーポレーション株式会社/川崎北ロータリークラブ/川本工業株式会社/かをり商事株式会社/株式会社共栄社/株式会社ケイエスピー/株式会社KSP/株式会社合同通信コトブキシーティング株式会社/株式会社シグマコミュニケーションズ/株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局/株式会社清光社/月島機械株式会社/株式会社テレビ神奈川東工株式会社/ナイス株式会社/株式会社日建設計/日産自動車株式会社/日生商工株式会社/日総ブレイン株式会社/株式会社野毛印刷社/パナソニックESエンジニアリング株式会社/平安堂薬局/株式会社ホテル、ニュウグランド/一般社団法人本牧関連産業振興協会/丸茂電機株式会社/三沢電機株式会社/森平舞台機構株式会社/ヤマハサウンドシステム株式会社/株式会社有隣堂/株式会社豊商會/株式会社ユニコーン/株式会社横浜アーチスト/横浜新都市センター株式会社/横浜信用金庫/弁護士法人横浜パートナー法律事務所/横浜ビルシステム株式会社/株式会社ワイイーシーソリューションズ(匿名:2社)

永年個人賛助会員 川村恒明 個人賛助会員 味田健一/岩間良孝/岡田博子/黒瀬博晴/小山明枝/高岡俊之/中澤守正/橋本尚子/藤原靖也/三宅浩二/渡邊政彦(匿名:2名)

協賛・協力

能舞台協賛 ナイス株式会社

協力 神奈川総合設備株式会社/神奈川トヨタ自動車株式会社/崎陽軒/株式会社東芝/株式会社野毛印刷社/株式会社富士住建/三菱地所株式会社(敬称略 2019年2月25日現在)

ご寄附・ご協賛・ご協力のお申込み・お問合せ: 本部経営企画課 045-633-3760 www.kanagawa-arts.or.jp/support/



神奈川県では、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出す、マグネット・カルチャー略して「マグカル」の取組を推進しています。

マグカルQ

人生的一幕を、観に行こう。

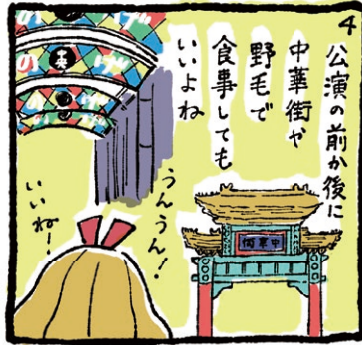
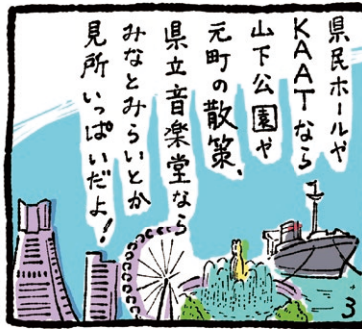
神奈川文化プログラム



劇場の達人

劇場への行き帰りも楽しもう!

え・ユキナ



Kame かながわメンバーズ 登録無料!
KANAGAWA members メールマガ無料配信
チケットの先行予約が可能
登録はWEBで! www.kanagawa-arts.or.jp/kame

神奈川芸術プレスはここにあります。
神奈川県内の主な公共施設の情報コーナー、首都圏の公共ホール・公立図書館・博物館・書店・銀行等に配架しております。
WEBでも読めます! www.artspress.jp

MAGCUL 神奈川県発、文化発信ポータルサイト
MAGCUL ドット ネット
MAGCUL.NET



しあわせな時と場所を
私たちは家づくりを通して、
ご家族の「しあわせな時と場所」を応援します。



完全フル装備の家® 株式会社 富士住建

関東の一都六県に23のショールームがあります。TEL:0120-43-2210 営業時間:午前9時〜午後7時(但し水・木曜日は午後4時まで)・年中無休

編集後記

各館ラインナップが出揃いました! 気になる公演は手帳やカレンダーにメモをお忘れなく! (お亀) 春到来! 横浜散策がてら劇場・音楽堂にもぜひ足を伸ばしてみてください! カナちゃんにも会えるかも? (maru) ロープウェイに乗ってみたい! (倉)